

錦糸公園 STUDIO Dede ステージ 8/21

8月20日 12:00 スイート・ボイス (ジャズコーラス) @錦糸公園 STUDIO Dede ステージ

メンバー：BABI, MAKO, KAO, JUN

朱恵仁 (Pf) 長谷川晃 (Ba) 吉川昭仁 (Dr)



スイート・ボイス

女性4人による実力派ボーカル・グループ。

2005年メジャーデビューアルバム『Jazz and the City』をリリース。

2006年2ndアルバム『Kiss Kiss Kiss and still Kiss』をリリース。（1st、2nd共にキングレコードより）

2008年3rdアルバム『JAZZ CARAVAN』リリース。

2009年4thアルバム『SWAY』リリース。（3rd、4th共にホワッツ・ニュー/バウンディより）

プロデュースは吉永多賀士&トーマス・サワダ。

4thアルバム収録の“KISS KISS KISS feat. LiliCo”は、

テレビ東京系『美の巨人たち』のエンディング曲として2009年4月～6月まで放送された。

又、4thアルバムのカバーのエアブラシアートは元大リーガーのSHINJOが手がけている事も話題。

ラテン・エッセンスに満ち溢れた今回は、アーリー50'sのキャバレーに迷い込んだ様な雰囲気を持っている。

リスベクトして止まないマンハッタン・トランスファーの流れを継ぐ見事なハーモニーワークは、女性コーラスらしい華やかさを持ち合わせ、癒し系にもダンスサルにも自由に女声4声を操っている。

マンハッタン・トランスファーのレパートリーは勿論、ポップスからオリジナルまで、エンターテインメント性溢れるステージを展開。

ベニシユラ東京のオープニング・ガラを始め、大人世代ばかりでなく幅広い層の支持を受けている。

8月20日 13:00 朱恵仁トリオ@錦糸公園 STUDIO Dede ステージ

メンバー：朱恵仁 (Pf) 長谷川晃 (Ba) 吉川昭仁 (Dr)



朱恵仁 (pf)

1977年11月18日生まれ。

母の影響でハモンドオルガンを習い始め、オスカーピーターソンに憧れた事からジャズピアノを習い始める。

Berklee音楽大学の東京セミナーに参加等の活動を経て、甲南中学校、甲南高等学校、甲南大学で、それぞれのビッグバンドにレギュラーとしてカウントベイシーを学ぶ。

10年間参加し、第30回山野ビッグバンドジャズコンテスト・甲南大学が10位入賞、ピアノを担当。

小曽根真氏・北野タダオ氏に師事。ハモンドオルガンの近畿大会・優秀賞受賞。STUDENT JAZZ FESTIVAL・個人賞受賞。

その後、アメリカ、ボストンのバークリー音楽大学へ留学。ジャズ作曲科卒業。卒業後は、ジャズ、ラテンピアノをメインとして、演奏、作曲を中心にライブ活動中。

8月20日 14:00 AYAKI Duo@錦糸公園 STUDIO Dede ステージ

メンバー：AYAKI(Electone)、吉川昭仁(Dr)



AYAKI (エレクトーン)

1983年生まれ。2歳でエレクトーンを弾き始め、4歳よりヤマハ音楽教室で学ぶ。

ジュニアオリジナルコンサートに参加しテレビ番組やユニセフチャリティコンサート等に出演。2000年、インターナショナルエレクトーンコンクール最高位（第2位）受賞。2003年、米国バークリー音楽大学ジャズ・コンポジション科入学。2006年、Wayne Shorter Award。そしてIAJE（International Associate of Jazz Education）CompositionコンクールBig Band部門で優勝し、同年首席卒業。

ジャズ、ラテン、ファンク、フュージョン、ポップスを中心にオリジナリティーあるアバンギャルドなポピュラー音楽を得意とし、作編曲及び演奏活動を展開中。

2008年11月1stアルバム『Autumn in Boston』発売。

2010年2ndアルバム『Sunlight』発売。

ジャズの本場アメリカで培われた確かな実力と個性溢れる感性を持つ、今後の活躍が大いに期待されるエレクトーンプレイヤー。

8月20日 15:00 栗田洋輔@錦糸公園 STUDIO Dede ステージ
メンバー：栗田洋輔 (Sax) 馬場孝喜 (Gu) AYAKI (P) 安田孝司 (Ba) 吉川昭仁 (Dr)



栗田洋輔 (Sax)
2005年4月に「地球へのラブソング」というコンセプトのファースト・アルバム "Sleepin' Sheep" をリリース。
JazzLife誌にて「個性豊かでポップなコンテンポラリー・ジャズ」「関西ジャズ・シーンの活性化を伝える意欲作」と評され話題を呼ぶ。
2010年6月5日には参加バンド Vermilion Field によるファーストアルバム "Vermilion Field" をリリース、同年6月に全国ツアーを行い各地で好評を博す。

8月20日 16:00 横田寛之トリオ"ETHNIC MINORITY"@錦糸公園 STUDIO Dede ステージ
メンバー：横田寛之(Saxophone) サトウヒロ(Double Bass) 島野和樹(Cajon)



横田寛之
2009年10月、リーダー横田寛之の呼びかけで始まった横田寛之トリオ"ETHNIC MINORITY"。
メンバーは横田寛之(saxophone)、サトウヒロ(bass)、島野和樹(cajon)のスリーピース。
"ETHNIC MINORITY"は英語で「少数民族」の意味。
世界中を旅しながら生活し、ロマンティックで美しい芸術を生む移動民族と、ストリートライブ、ジャズ、ロックのイメージを重ね合わせて名付けられた。
主な活動場所を渋谷路とし、元々は広告、生活費目的で始まった。
長時間の路上ライブに耐えられるよう、当初はサクソス、アコースティックベース、カホンという小音量でミニマルな編成・音楽を志向していたが、
島野和樹がカホンを改造、バスドラムに代えてオリジナルドラムを開発して以来、ロック、ファンク、グランジなどを取り入れたアバンギャルドなジャズを演奏するようになった。
サトウヒロと横田寛之は早稲田大学ハイツサエティオーケストラの同期。
2004年の卒業後、しばらく一緒に演奏する機会はなかったが、サトウヒロのポップスバンド「Summer Soft」のサポートとして横田寛之、島野和樹が出会い、ETHNIC MINORITYの構想が生まれる。
毎晩のように行うストリートライブが数多くのクリエイター、イベントオーガナイザーの注目を集め、さまざまなクラブイベントにて演奏を始める。
渋谷・吉祥寺などのストリートでは100〜200人の聴衆を熱狂させるようになり、2011年3月、本格的にバンドとして始動。
また、インターネットTV"STOMPOTION"にて月に一回、横田寛之によるテレビ番組「ゴージャドピンチTV」に出演している。

8月20日 17:00 noble trio@錦糸公園 STUDIO Dede ステージ
メンバー：noble(Vo) 伊藤志宏(P) 小森耕造 (Dr)



noble
2歳からバイオリン、7歳からピアノを習い始める。
両親の影響で、幼少時からsoul、jazzをはじめ、
Black Musicを聴いて唄って育つ。
99年に東京大学に進学とともに上京し、薬学部薬学科を卒業。
在大学中にJAZZ研に入学し、積極的に音楽活動を開始する。
大学2年の時、Elis ReginaやDjavanなどの数々の名盤に参加する、ブラジル最高峰のベーシストLuizao Maiaのグループに参加し、ブラジル音楽にも深い興味を抱きはじめる。
加藤真一のリーダーバンド"B-Hot Creations"や、
Joseil(soil & pimp sessions)らとのユニット"ALMA plus"のフロントとしても活躍。
2009年冬ブラジルに渡り、世界的に活躍するギタリストToninho Hortaのソロアルバムに参加。
2010年からは自分名義の活動も開始し、2011年7月に1stソロアルバムを発売予定。さらなるオリジナリティを追求している。

錦糸公園 STUDIO Dede ステージ 8/21

8月21日 12:00 Solaris Eikoグループ@錦糸公園 STUDIO Dede ステージ

メンバー：ソラリスEiko(Vo)、Jeff Curry(Double Bass)、Frederic Viennot(Keys)、藤井伸昭(Dr)



Solaris Eiko

1月22日（Jazzの日）に生まれる。

3歳からピアノ、7歳から英語、10歳から歌を学び今の礎を築く。幼い頃ホームステイに行き、海外に強い憧れを抱いた彼女は、3年間サウジアラビア王国の首都リヤドに在住。世界約30カ国にも行き来する。その先で、欧米人で構成されたリヤドクワイアでソリストとして活躍。さらには英米大使館等でも歌う事となり、インターナショナルスクールリヤド校ではミュージックアシスタントとしてボランティア活動も行う。同時に、欧米人の子供達にピアノの指導も行う。

帰国後、国際ボランティア年記念コンサートをきっかけに、日本でも様々なコンサート活動を開始。その後、ジャズ愛好家であった父の死(5月20日)を機にジャズへ転向し、「Eiko」として活動始める。
*チャリート氏、安田直弘氏に師事。

モデルのようなスタイルと、落ち着いたアルトの歌声が、多くの人々の心を魅き付け、現在、銀座をはじめ都内はもちろん、千葉、神奈川、埼玉、茨城県南で活動中。また、自身のライブ活動の他にチャリティーや講演会などでも活躍をしている。

8月21日 13:00 隼人加織@錦糸公園 STUDIO Dede ステージ

メンバー：隼人加織(Vo)、Gustavo Anacleto(Gu,sax)



隼人加織

11歳で受けたソニーミュージックのオーディションにおいて8000人の中から別枠にて選抜を受ける。

12歳でデモ音源の制作。初めてのレコーディングを体験。

16歳でミニアルバムを制作、販売。オリコンの子会社にあたるインディーズレーベルよりデビュー。

以後、3枚のミニアルバムを発表。メロウロックやサイケテイストを感じさせる音楽性で活動するも、18歳の上京をきっかけに全てを停止。自分と音楽のあり方を探して潜伏期間に入る。

19歳でブラジルへ。

現地の音楽に触れ、幼少期から耳にしていたブラジル音楽に改めて関心を持つ。

22歳で日伯交流100周年記念及び、ボサノバ生誕50周年に合わせセビクターエンタテインメントよりファーストアルバム"Pluma"(ポルトガル語：羽根)を発表。

翌年には、プロデューサーに宮田茂樹を迎え、ブラジル・リオ・デ・ジャネイロにて、ジョアン・ドナート、マルコス・ヴェッリ、セルソ・フォンセカ、マリオ・アジネーなど現地のアーティストと共に制作したセカンドアルバム"Lindas"(ポルトガル語：美しいものたち)を発表。

8月21日 14:00 The Outer Rim@錦糸公園 STUDIO Dede ステージ

メンバー：Jeff Curry(EB)、Gustavo Anacleto(Sax)、Frederic Viennot(Keys)、藤井伸昭(Dr)



The Outer Rim

The Outer Rim is funky club jazz unit hailing from Tokyo Japan with members from The United States, Brazil, France and Japan. The band's sound is a blend of jazz, rock, and funk, with elements of ambient and club music. After releasing their first self titled album in 2008, the band toured Asia and had their music featured on two internationally released compilation albums "Super Hard Extra: New School" and "Absolute: Sounds from Tokyo" as well as a video game arrangement album "No More Heroes Dark Side". 2009 has been a year of change for The Outer Rim with the exit of saxophonist Norihiko Hibino and pianist Hakuei Kim. Bassist/ bandleader Jeff Curry and drummer Nobuaki Fuji remain and new members include Gustavo Anacleto (sax), and Frederic Viennot on keys and synth. The band is gearing up for another push booking shows and has completed their new recording "Surface Past Reflection" due out in May 2011. <http://www.jeffcurry.com/theouterim> <http://www.myspace.com/theouterimband> The Outer Rim はアメリカ合衆国、ブラジル、日本出身のメンバーからなるファンキークラブジャズ・ユニットであり、東京からそのサウンドを世界中に発信している。そのサウンドはジャズ、ロック、ファンク、アンビエント、そしてクラブミュージックとの融合。ファーストアルバムを2008年にリリースした後、バンドはアジアをツアーする。その後は世界各国にリリースされた二つのコンピレーション・アルバム "Super Hard Extra: New School"、 "Absolute: Sounds from Tokyo"、またビデオゲームのアレンジアルバム、 "No More Heroes Dark Side"にその楽曲を提供した。2009年はThe Outer Rimにとって変化の年となった。サクセス-日比野剛彦、ピアノ-ハクエイ・キムの脱退。現在はサクセス-Gustavo Anacletoとキーボード-Frederic Viennotを新たに迎え、ベース/バンドリーダーのジェフ・カリー、ドラムの藤井伸昭の4人で再スタートを切った。バンドは2011年5月に発売予定の新しいアルバム「Surface Past Reflection」を完成させ、さらに新たにライブイベントを企画するなど、活動により一層の拍率をかけている。

8月21日 15:00 たをやめOrquesta!!!@錦糸公園 STUDIO Dede ステージ

メンバー：sax：岡村トモ子、幅佐登美、金成朋美、むうみん、住田明日香 Tp：SAKKO、長谷川素子、田澤麻美、二井田ひとみ Tb：すず奴、ホッシー、橋爪美季

Pf：大西まみ Ba：愛沢まり Dr：金澤沙織 Pr：Muupy、中里ゆきの vocal：秀子



たをやめOrquesta!!!

水分不足のビッグバンド界に華麗なる殴り込み。

2008年結成のTropical Entertainment Bigband.

Tp4、Tb4、Sax5、Dr、Bass、Piano、Per2、Vocalの19人、現役バンドマンが多数在籍するたをやめならではの、枠にはまらないステージで楽しいエンターテインメントの時間を届け。

「手弱女」と書いて「たをやめ」と読むが、そんなか弱く偉いネーミングとは裏腹に、とてもタフな...タフすぎる女力をとくとご覧あれ！

8月21日 16:00 Enigmatic Drive@錦糸公園 STUDIO Dede ステージ

メンバー：六角屋雄介(Sax.ewi) 関田大輔(Gt) 矢吹卓(Key) 二家本亮介(Ba) 田中榮二(Dr)



Enigmatic Drive

サクセス奏者六角屋雄介とギタリスト関田大輔によるオルタネイティブ・ジャズ/メタル・ジャズ・ポップグループ。

OBJECTIVE:

「世界のあらゆる人々に、文化の壁を越えて伝わる今までに無い衝撃的なジャズ観を制作し、既存のジャズリスナー、アーティスティックマインドを持つ人々に送り届け、

我々が持つ想像力で、リスナーに意識しなかった音楽的発見を提供し、国境を超えて共有できる芸術を創作、観客と共有する」

「エニグマティック・ドライブは衝撃的だ。その新斬で起伏に富んだ楽曲は力強く、確信とオリジナリティに溢れている」(ジョン・ゾーン)

8月21日 17:00 The Cubes@録楽公園 STUDIO Dede ステージ

メンバー：岩崎太整(conduct,key,se) フルタナオキ(b) 北原健太郎(Dr)、船山美也子(pf) さいとうりょうじ(org) 法西隆宏(g)
NOBU(per,turtable) 岡部量平(per) 中山浩介(tp) 湯本淳希 (tp) 幅佐登美(as) 多田ルミエ(tb) るっば(ts) 矢島恵理子(bs)



The Cubes

2009年作曲家・岩崎太整を中心に結成。

各々独立するメンバーを掛け合わせた【プレイヤーサンプリング式ユニット】。

無理やり押し込められたからこそ、そこに歪で精巧なサウンドが生まれる。

交わらず、作用することのみを希求する新たな様式の群像音楽。

【バンド解説】

ビッグバンドながらHiphop,techno,soul等クラブカルチャーに根ざした様々な音楽を生み出す異色ユニット。

メンバーも全く異なるセグメントから選出された為、男女もバラバラ、音楽性も別々。

しかし作り出す音楽は観客の一気に握む圧力と、一聴して覚えられるキャッチーさを併せ持つ。

インストがメインではあるが、ラッパーやシンガー、ダンサーといった準メンバー達も多数参加するため、

多面体と称されるに相応しい全く異なる楽曲を制作/演奏することが出来る。

2011年 6月初のフルアルバム「Polyhedra」をディスクユニオンレーベルからリリース。